



事業者にとっての抜本的な対応が難しい中、近隣の方々との治安協力・地域共生の推進や、定期見回りなどで効果を上げているケースもあります。太陽光発電設備のケーブル盗難対応については、より注意を払って頂き、社会のエネルギーインフラとしての責務を果たしていけるようお願い申し上げます。

不審者・不審車両等の情報は110番または最寄りの警察署へ通報をお願いします！
(不審者の人相・特徴・着衣や車のナンバー等の記録は、協力情報として効果的です。)



一般社団法人 太陽光発電協会

Japan Photovoltaic Energy Association (JPEA)

JPEAホームページ <https://www.jpea.gr.jp/>



地域の安心と安全を！！ まもろう地域の安全・ なくそう太陽光発電設備の ケーブル盗難！！



会員募集

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、JPEAでは、太陽光発電の普及・発展を共に歩む会員を募集しています。

当協会に入会いただくにあたり、企業規模の大小は問いません。太陽光発電の可能性に着目し、その普及に事業意欲と関心をお持ちであれば、原則としていつでも入会可能です。

今後、ますます拡大が期待される新エネルギー。太陽光発電の普及・利用促進を通じて、脱炭素社会に向けて、共に先導的な役割を果たしていきましょう。皆様のご入会を歓迎します。

会員の主なメリット

- (1) 政府審議会や官公庁への提言立案への参加
- (2) 太陽光発電に関する各種情報の提供
- (3) 定期刊行物その他図書、印刷物等の配布

詳しくは、JPEAホームページ (<https://www.jpea.gr.jp/>) まで。



JPEAホームページ

現在太陽光発電設備のケーブル盗難事故が全国的に激増の傾向です。これまでの被害では、特に夜間、人が近づきにくい設置環境で、中規模から大規模設備が中心でしたが、最近では小規模設備まで拡大していると言われていています。ケーブル盗難は、事業者にとっての損失だけではなく、近隣住民の防犯に対する懸念や再エネ電力の供給停止など、エネルギー安定供給や地域の安心・安全の面でも無視できない問題だと考えております。

太陽光発電設備を運営・管理している皆様におかれましては、地域の安心・安全、並びに地域との共生を最優先頂き、本パンフレットの対策例を参考に改めて防犯対策の更なる強化と保守運営の再点検などの対応をお願い申し上げます。

1

設備設計面での配慮・対策例

露出（コログシ）配線はなるべく避ける

配線が露出されていると、比較的盗難が容易であり、狙われやすくなります。露出配線は避け、ケーブルラックの強化や配線の地下埋設等の保護対策を行ってください。

地下埋設配管とハンドホールのロック設計

配線を地下埋設配管していても抜き出されるケースがあります。配線を容易に抜き出されないように、配線は複数箇所を固定したり、ハンドホール等には強固なロックを設置するようにしてください。

フェンス・柵・鍵など防犯対策強化、草刈により所内が外から見える

フェンスは、乗り越えが困難な高さのものを設置し、切り破りによる侵入を防止するため、強固な素材のフェンスを設置するようにしてください。また、定期的な草刈り等により施設周辺の死角を解消してください。



セキュリティシステムの導入、侵入アラートシステムによる夜間監視

侵入者を検知し自動通報するためのセキュリティシステムや侵入アラートシステムを導入し、夜間を含めた監視を行ってください。



侵入者に対して光と音で威嚇する設備や記録可能な監視カメラの設置

侵入された場合に備えて、侵入者に対して光と音で威嚇し周囲に異常を知らせる設備や、夜間を含めて録画記録が可能な監視カメラを設置してください。



監視システムのケーブル管路の保護など

監視システムのケーブルを切断されないように工夫するとともに、ケーブル管路の保護等を行ってください。また、監視システムの電源が切断された場合でも、バックアップシステムから通報する等の対策を検討してください。



2

運営面での配慮・対策例

ケーブル盗難異常検知と緊急駆け付け対応

敷地内への侵入やケーブル盗難を検知した場合に、緊急駆け付けが可能な警備会社等と契約する等の対策を行ってください。



近隣の方々や発電所間の防犯協力、地域共生の推進による防犯体制の構築

近隣の方々とは良好な関係を構築し、不審者、不審車両等を見かけた場合の情報提供等についての理解と協力を得るよう努めてください。



警備会社等を活用した防犯対策強化

施設への常駐や施設に対する定期的な巡回を実施してください。施設管理者等による常駐や巡回が困難な場合は、警備業者の活用等を検討し、防犯対策を強化してください。



動産保険ならびに休業損害保険等の加入による損害対策

万一ケーブル盗難が発生し元の状態に戻すための動産保険、ならびに、発電できる状態になるまでの休業損害保険等への加入を検討してください。なお、防犯対策や対応が不十分な場合には保険が適用されない場合がありますので、上記対策を参考にし実施してください。



【参考】アルミケーブルの活用

現在発生している配線の盗難被害は、比較的単価の高い銅ケーブルを目的としたものと考えられるため、単価の安いアルミケーブルを活用している事例もあります。

